

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	脳血管内治療における適切な Woven EndoBridge(WEB)デバイス選定システムの開発		
1. 研究の目的と方法	<p>脳の血管に発生する病気の一つに脳動脈瘤という病気があります。脳動脈瘤は脳動脈の一部がコブ状に膨らむ病気です。脳動脈瘤の中には血液が流れ込んでおり、もし破裂してしまうと命に関わる重篤なくも膜下出血になってしまいます。そのために、破裂しないようにする予防の治療がとても大切です。その破裂予防のための治療法の一つとして、脳動脈瘤内にWoven EndoBridge(WEB)という新型の装置を留置する最新の治療が日本でも可能となりました。その仕組みは、このWEBという装置が脳動脈瘤の中に留置されると、瘤の中の血流に変化が生じ、その結果破裂しにくくなるというものです。</p> <p>本研究の目的は、WEB装置を留置する脳動脈瘤治療の成功率を上げることです。本治療の成功の鍵は適切なWEB装置のサイズを選ぶことにあります。そのため、この研究では患者さんの脳動脈瘤の画像データから3Dプリンターによる脳動脈瘤の模型を作成し、その模型にWEB装置を留置する実験を実施します。そして、実験によって得られたデータを元に人工知能による解析を行い、最適なWEB装置のサイズが治療前に予測可能となるようなシステムを開発します。</p> <p>このシステムが開発されることにより、脳血管内治療医は適切なサイズのWEB装置を留置することが可能となります。その結果、脳動脈瘤治療の成功率が上がり、さらにはWEB装置の廃棄コスト削減を実現することも可能となることから、医療システム全体への利益にもつながります。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	脳動脈瘤の患者さんで、2003年1月1日～2023年5月31日までの間に附属病院で脳血管撮影検査を受けた18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、家族歴、嗜好品等、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座
		氏名	府賀道康

	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(4)共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	東京理科大学 工学部 教授 山本誠 株式会社 MediEng 工藤元樹
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、株式会社 MediEng によって詳しく解析されます。</p> <p>提供方法：各種情報は、適切に個人を識別できないように加工の上、パスワードを掛けた電子ファイルを東京慈恵会医科大学 脳血管内治療センター内のインターネットに接続できないパソコン上に保存されます。株式会社 MediEng はそのパソコン上から、必要な画像情報を取得し、各種解析を行います。</p> <p>収集した情報の提供開始予定日：2023 年 8 月 14 日</p>	
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座</p> <p>研究責任者：助教 府賀 道康(フガ ミチヤス)</p> <p>電話番号：03-3433-1111 (3461)</p> <p>対応時間：平日午前 9 時～午後 4 時 / 休診日を除く</p>	

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。